

しょうぼう 消防も…のひと

消防団員 = 発災時に市民を守る使命を
帯びた 隣人(りんじん)



川崎 耕平 さん

第12分団 部長
(消防団歴10年、塚原新田在住)

部長を務めている第12分団は、塚原新田地区を担当しています。団員は10人と少人数ですが、団員同士の仲が良く、大好きな地域を自分たちで守ろうと元気に活動しています。もっと若い団員に来てもらえるように更に盛り上げていきたいです。

趣味は釣りとラーメン屋巡りです。最近では、家族サービスで子どもと一緒に出かけすることも趣味になってきています。

普段は農家として、ロメインレタスや、ミニ白菜、三島馬鈴薯などを栽培しており、若手生産者グループの「箱根西麓のうみんず」に所属しています。三島は農業をする上でとても恵まれた環境で、先輩農家さんが築いてきた伝統とブランドをしっかりと受け継いで、更に地域を盛り上げていけたらと思っています。

消防団への入団希望…危機管理課 ☎ 972・5820



COVER PHOTO

表紙

1月26日(日)の文化財防火デーにあわせ、22日(水)に三嶋大社で行われた消防団員による放水訓練の一場面です。

4ページからの消防団特集もぜひご覧ください。

広報みしまをスマホでも！
無料アプリ「マチイロ」から！▶



CONTENTS

目次

- 2 消防も…の人
- 3 地域コミュニティ連絡会を開催しました
- 4 消防団員になりませんか
- 8 みしま情報便 (information)
軽自動車、原付バイクの名義変更・廃車の手続きはお済みですか / 子育て応援サロン / 棚田づくり応援隊 ほか
- 10 富士山南東消防本部からのお知らせ
- 11 お知らせアラカルト
- 14 図書館からのお知らせ / 連載
これぞ自治会・町内会
- 15 フォトマイタウン
- 16 スポーツ情報
- 17 いきいき健康
- 18 連載 ガーデンシティみしま
- 20 放課後児童クラブで働きませんか？

▶▶次回発行は3月1日号

地域コミュニティ連絡会を開催しました

☎地域協働・安全課 ☎ 983・2708

自らの地域の問題は、自らで解決するという基本的な地域づくりの考えのもと、市では、地域の課題を共有し、解決のため連携し活動をする「地域コミュニティ協議会」（以下協議会）の設立を市内全14の小学校区で目指しています。

すでに協議会が活動を始めている東小学校区と西小学校区以外の12の小学校区では、市が主体となり年2回の「地域コミュニティ連絡会」（以下連絡会）を開催しています。ここでは、令和元年10月4日～11月14日に開催した、今年度第2回目となる連絡会の内容を紹介します。

全体テーマ「みんなが繋がるまちづくり～笑顔あふれる未来のために～」

連絡会では、全体テーマを元に「①三世代交流・居場所の活用」「②見守りのある地域づくりに向けて」のうち、各参加者が希望するテーマを1つ選択し、テーブルごとに自由な発想で意見交換をしました。以下は北小学校区と坂小学校区であげられた意見の抜粋です。

①三世代交流・居場所の活用（北小学校区）

地域の情報を共有

- ・世帯数や子どもが多い一方で、顔見知りが多くないと感じるので増やしたい。
- ・教育に関心が高い。
- ・環境が良い。
- ・公共施設が多い。
- ・自然環境をさらに良くしたい。
- ・上岩崎公園でイベントが開催される。

理想とする地域像

- ・高齢者と子どもが集える公民館がほしい。
- ・防災訓練に中学生、高校生、大学生がボランティアとして参加できるようにする。
- ・地域みんなが集まることができる。

具体的なアイデア（実現不可能でもOK）

- ・たき火ができる場所を整備し、BBQや非常食で防災ピクニックを開催する。
- ・お父さんたちが活躍できるイベントを開催する。
- ・さまざまなイベントを開催することで、今の小学生、中学生、高校生が大人になったときに、つながることができる。

②見守りのある地域づくりに向けて（坂小学校区）

地域の情報を共有

- プラスな点：山中城が歴史のあるもの。夏が涼しくて過ごしやすい。
- マイナスな点：少子高齢化が進んでいる。バスの運行本数が少ない。人口が減少している。

理想とする地域像

- ・高齢者が安心して過ごすことができるような地域
- ・目が行き届く地域
- ・Uターンを希望する人が増えたらよい。
- ・空き家の有効活用

具体的なアイデア（実現不可能でもOK）

- ・見守るためにたくさんの目があればよい。
①人口を増やす。②山中城に訪れる観光客を増やす。③商業施設の誘致④工業団地を増やす。⑤三世代交流の場ができる。
- ・山中城周辺のトレッキングコースをマラソンコースとして整備
- ・花畑を作り、インスタ映えするような場所にし、各地から観光客を呼び込むことで、日本全体が坂地区を見守ってくれる。